

令和 7 年度
第 3 回 教育委員会 会議録

那須町教育委員会

令和7年度第3回那須町教育委員会会議

令和7年10月1日午後3時30分から、令和7年度第3回那須町教育委員会が開催され、その結果は次のとおりであります。

1 本会議に出席した委員は次のとおりであります。

平久井好一教育長、菊地厚子委員、菊地昭一委員、金田裕美子委員
大島一行委員

1 本会議に出席を求めた者は次のとおりであります。

学校教育課長 島村育男、こども未来課長 赤羽根泰啓
生涯学習課長補佐 大田原智美

1 本会議の書記を命ぜられた者は次のとおりであります。

学校教育課長補佐 藤田健一

1 本会議の傍聴者は次のとおりであります。

なし

1 本会議の議事は次のとおりであります。

議事

- (1) 社会教育委員への諮問について（資料1）
- (2) その他

報告事項

- (1) 令和7年度「教育委員会の点検・評価」報告書（資料2）
（令和6年度事務事業対象）について
- (2) 各種認定・許可状況について（資料3）
- (3) 教育大綱改訂スケジュールについて
- (4) 余笹川ふれあい公園遊具設置について
- (5) 各種生涯学習事業について
- (6) その他

1 開 会

学校教育課長

それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和7年度第3回那須町教育委員会を開催いたします。

はじめに、平久井教育長よりご挨拶をお願いいたします。

2 教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。令和7年度第3回目の教育委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。

10月1日となり、令和7年度も半年が終わり、下半期に入ります。本日は新たに、大島一行教育委員をお迎えしての初めての会議ということで、どうぞよろしくお願いいたします。

新聞報道等で皆さんもご存知かと思いますが、教職員による盗撮事案が、東京、名古屋そして栃木県県立高校でも発生しています。栃木県教育委員会でも不祥事防止に取り組んでおりますが、後を絶ちません。時代が変わり、教職員には校長会議で、自分のスマホで子どもたちの活動を一切盗らないようお願いしております。これは、時代が変わる中で、不祥事を防ぐために一段レベルを上げた対応策が必要な時代になってしまったのだと思っております。

9月28日、第20回目の九尾まつりが行われました。今年は例年よりも、子どもたちの参加が非常に多く、ブースも6つほどありました。友好都市の首長さんや議会議長さんも参加されており、子どもたちが自分たちでお祭りを盛り上げようとしている姿に、皆さん一様に驚かれておりました。これは、とても良いことだと思っております。

町内小中学校では、令和7年度前期が終了し、秋休みを挟んで10月15日から後期が始まります。前期は、教職員や子どもに関わる大きな事件、事故もなく終えられたことについて、各学校の校長先生をはじめ、先生方がしっかり指導して下さっているおかげだということで、お礼を申し上げます。

本日の会議ですが、社会教育委員への諮問を皆さんでいろいろ図っていただきたいということと、報告事項として5点ほどございます。慎重なるご審議をよろしくお願いいたします。

学校教育課長

ありがとうございました。

それでは、これより進行を教育長にお願いいたします。

教育長

それでは、令和7年度第3回那須町教育委員会を始めさせていただきます。

本日の出席委員は、菊地厚子委員、菊地昭一委員、金田裕美子委員、大島一行委員の4名であります。

また、本会議に出席を求めた者は、島村学校教育課長、赤羽根こども未来課長、大田原生涯学習課長補佐の3名であり、書記として学校教育課藤田課長補佐を同席させております。

3 会議録署名人の指名

教育長

本日の会議録署名人を指名致します。菊地厚子委員と菊地昭一委員を本日の会議録署名人に指名致しますので、よろしくお願いいたします。

4 前回会議録の承認

教育長

続きまして、前回会議録の承認ですが、会議録の説明を学校教育課長よりお願いいたします。

～学校教育課長説明～

教育長

ただいま説明がありました会議録について、承認をいただけますか。

全委員

承認する。

教育長

それでは、本日の委員会の日程について、学校教育課長よりお願いします。

～学校教育課長説明～

5 協議事項

教育長

それでは議事に入ります。

議案第1号 社会教育委員への諮問について、事務局から説明をお願いします。

～生涯学習課長補佐説明～

教育長

補足説明をいたします。私が教育長になった頃、地域でお祭りや行事を行っても、小中学生の姿が見えない、ということをよく言われました。そこで、教育長部会で、第1.第3日曜日は部活動をしないう「地域へ帰す日」を設定し、那須地区で実施したところ、随分変わってきました。那須町はコミュニティスクールを方針としているため、小中学生はかなり地域に出て役割を持って活躍しています。しかし、義務教育を卒業して高校生になると、全く姿が見えなくなります。むしろ高校生は、地域活動の企画運営に関わる年齢ではないか、茨城県の取り組みで高校生が活躍している事例を、社会教育委員さんが聞いてきたこともきっかけでございます。高校生、大学生をもっと那須町の行事やお祭りに参加させるような何かが必要ではないか、ということで教育委員会に諮問してもらおうということになりました。

ただいま説明のありました「議案第1号」について、委員の皆様からご意見をいただきます。いかがでしょうか。

菊地（厚）委員

全くこの時代に即したテーマだと思います。地域の担い手がいなくなっていることは、喫緊の課題だと思います。私たちが近場でいろんな方と話をする中で、すでにそういう話題が出てきております。例えば、黒田原駅の前で高校生の居場所のようなところを運営している協力隊の方の話を聞くと、ただそこにいるだけでなく、そこからいろいろな繋がりが広がり、イベント協力やだっばラジオの活動に関わるなど、すでにそういう動きができつつあるそうです。その辺をもう少しバックアップしながら、高校生あたりにポイントを絞って、ただ実態を把握するだけでなく、プラスこういうのをしたらどうかという提案までしていただけると良いなと思います。

金田委員

このテーマは本当に喫緊の課題だと思います。高校生以上の姿が見えないということでしたが、幸いにして那須町には那須高校があり、「人物図鑑」の発刊を4巻も重ねており先日は「人物図鑑サミット」も発足しています。ぜひそこに声をかけていただければ、すぐ地域に出ていける準備はできております。ただ、コラボしていただける際の責任の所在や那須高校生が安心して地域に出ていくための交通手段の問題を、課題として共有しながら議論を重ねる必要があると思います。那須高校生たちを核にし、小中学校とのボランティア活動等の繋がりを線で結んだら、一気に加速していくと思います。また、いきなり担い手になってくれという話ではなく、なぜ大人たちは若者に期待するのだろうか、という生徒からの問がありました。高齢化社会で若いパワーに期待を寄せるのは分かるけれど、大人たちは僕たちに何を見せてきてくれたんだろうかという問いです。これは的を得ており、地域で担い手を作るのであれば、小さい時から大人たちと一緒に仕事や役割分担をしながら歩いていくと、自然と次は僕たちの番だという意識が芽生えるのではないかと思います。その辺を仕掛けの一つの中に入れていただいて、みんなが笑顔で、若者たちに頼るだけでなく、中高年たちにも頼ることではなく、これからは健康寿命を伸ばしながら、私たちが頑張らなければならない。そういうような地域コミュニティ作りというのが大事なのではないかと思っております。

菊地（昭）委員

高校生の姿がないというのは、ちゃんと高校生にお願いしているのですか。頼んでも協力が得られなかったのなら、それはちょっと問題があると思うのですが、若い人たちや子どもたちは飢えていると思うんですね。コロナの影響でお祭りがなくなったりしたが、例えば、企業が初めてやったお祭りに子どもたちが誘われると、お手伝いに行くんです。本当はやりたいんですよ。やる場所がないだけで。だんだん協力者がなくなったのは、お年寄り等の変な序列があり、そういうのが若者に敬遠されているのかなと思っております。若い人たちだけを集めることができ、コミュニティに対して尋ねることができれば、良い答えが出てくると思います。公民館や自治会も同じで、変な序列や夜の会議があったりすることが毛嫌いされているだけで、行事そのものは嫌ではなく、運動やレクリエーションをすることは良いと思うんです。芦野の花火大会が何十年も続いているのは、若い人たちを取り入れるような何かをしているのかなと思います。

大島委員

私は、芦野の花火大会の実行委員に毎年入っていて、20年ぐらい寄附集めのメンバーはほとんど変わらず高齢化しており、協力者もいなくなってきたというのが現状です。毎年寄付集めをして、警備をしながら花火を見て終わるのが、私のお盆の活動ですが、達成感というのがあって、大変な思いはしたが、『綺麗な花火が見られて良かった。』という部分でいつもほっとしております。そういった達成感を高校生にも味わっていただけると、例えば、本部の仕事でも良いと思いますが、お客さんを誘導したり、ゴミを拾ったりなど何でも良いと思うのですが、少しでも関係性を持つことによって、芦野の花火って良いなと興味を持っていただけると、そういったお祭りも繋がっていくのかなと思います。

菊地（昭）委員

達成感だね。来た人たちの喜ぶ顔を見て達成感はあると思いますが、そこまで行っていないんだね、もう疲れ果てちゃって。だからそこには若い人たちが、『自分たちのものだ』『自分たちのお祭りだ』というものが無く、なんか遠いところにあったりして、寄付を集めたり大変なことをしているにもかかわらず達成感がないというのは、意識改革とかそういう問題があったりするわけです。まだ下の若い人たちが育つためには、今携わっている人たちが苦勞して持たせなければならぬと思います。今は空白であっても、その次の代の小学生たちがそれを見ていて、『自分たちの』という意識が芽生えてくれば、また復活できて新しいお祭りや行事になると思いますので、それに気づく若い人や子どもたちに、バトンタッチできるまでは、頑張る姿を見せられる地域が必要かなと思います。若い人たちを集めて、心の底の話を聞かないと分からないので、そういう機会を作っていければ何か動くのではないかと考えております。

教育長

全国学力学習状況調査があり、学力テストの点数だけでなく、いろいろな質問紙で子どもたちの実態が分かっています。那須町はコミュニティスクールでどんどん地域へ出て、達成感や喜びを感じているので、『地域に出て貢献したい』というアンケートは、全国平均より高い。要するにそういう子どもたちがどんどん育って高校生になっております。また、本日の課長会議の中で町長が、那須町は他から認められ、一目置かれている町なのに、残念ながら町民は、那須町はだめだという感覚が多いようです。町長は、町民の幸福度を上げることをやっていきたいとおっしゃってございました。幸福度とは、自分たちが企画して『助かったよ』『楽しい、面白い』と他から言われた時の達成感是非常に高いと思い

ます。これってゆくゆくは、『仲間がいるから那須町に帰るよ』っていうそこにつながるのではないかと思います。

それでは、ご意見がなければ、「議案第1号」について承認いただけますか。

全委員

承認する。

教育長

それでは、その他の議案について、事務局で何かありますか。

事務局

特にありません。

教育長

他になれば、以上で議事を終わりにいたします。

6 報告事項

教育長

それでは、報告事項に入ります。

報告事項(1) 令和7年度「教育委員会の点検・評価」報告書について、事務局の説明をお願いいたします。

～学校教育課長 報告事項説明～

教育長

ただいま、事務局から報告がありましたが、委員の皆様から何かご質疑がありますか。

菊地（厚）委員

毎年点検・評価お疲れ様です。素朴な疑問なのですが、各課たくさんの事業がある中で点検・評価委員さんをお願いする項目を5つくらいピックアップしていますが、選ぶ基準は何かあるのでしょうか。

学校教育課長

明確なルールは特に設定していませんが、ベースとなっているのが、町全体として各課の主要事業です。これには、新規のものや予算が大きいものが含まれます。それをベースとして、一つの係に偏らないように、事業を選んでおります。

菊地（厚）委員

その中の具体的なところですが、Cの評価がついた学校施設、これは大きな課題だなと思います。長期計画を考えなくてはいけないし、予算も長期的なものを組んで対応してほしい問題だと思います。

子育て関係の方で、保育園の補助事業とか給付事業とかで、内部評価がBでも外部評価がAというのが並んでいます。外から見ると、とても手厚い事業の形がなされていると評価されたのかなと思ったのですが、私立の保育園に対する補助などが手厚いのだと思います。子どもが少なくなっている中で、保育園を維持していくのは大変なことなので、町の補助は欠かせないと思います。ぜひ継続して重点を持っていたきたいです。

里親への委託を始めたとありますが、少しご説明いただくと有難いです。

学校教育課長

学校施設改善事業についてですが、那須町も東京に負けないくらい暑い状況があり、普通教室にはエアコンが整備されていますが、特別教室のエアコンの整備がまだされていません。学校現場としても、暑い中で授業をしなければいけない状況があります。今後、子どもが少なくなって学校施設をどうするか議論はありますが、今いる子どもたちにそれなりの環境は整備していかなければならないという認識でおります。学びの環境において空調などの整備が満足いくものではないということで、内部評価もC評価としましたし、外部評価としても、今必要だよなという意見がありC評価をいただいております。来年度から、エアコンの整備について検討しながら予算要求に向けて考えているところでございます。

教育長

長期計画のお話はありますが、学校の在り方検討委員会を進めており、どういう結論に達するか、少人数の学校をさらに充実させる方向で行けば、今ある学校は残るわけですし、その中でどうやっていくか具体的な計画が立ってくると、それについても学校の在り方検討委員会の中で話し合っていく必要があると思っております。

こども未来課長

内部評価B、外部評価Aについてですが、新たに保育士の処遇改善という事業が入りました。具体的には、賃金アップやアパートなどの借入についても補助ができるようになった部分もあり、さらなる事業の拡大ができたということでの評価だと思っております。

里親への委託については、お子さんを預かっていただける方のことです。児童相談所の方に登録されている里親さんがおりまして、お母さんが用事があるとか疲れているとかという時に1日、2日預かっていただけるショートステイの場ということになります。

菊地（厚）委員

町内にもあるのですか。

こども未来課長

町内にもいらっしゃいますが、実際利用しているところは、町外になります。

菊地（昭）委員

給付型奨学金について、評価は内外ともにAですが、寄付が今年度で終了となって財源確保の努力をしなくてはならないとありますが、これはどうするのですか。

学校教育課長

この給付型奨学金は、令和6年度の入学者から始めたものですが、菅間記念病院からの10年間で600万円寄付しますよというご厚意から、こういった制度ができたところでございます。当然、寄付が10年間で終わってしまうものですから、給付を続ければお金がなくなってしまうです。しかし、給付型の奨学金は、全国的にも取り組まれていますので寄付をいただいた財源がなくなったら、やめてしまおうというのは厳しいのかなと思います。経済的な理由で進学できない方への支援なので、継続していかなければならないと考えております。今後は一般に、支援してくれる方に寄付をお願いしますと発信していくか、別な方法で新たな財源を見つけるのか、様々な案が考えられます。継続していかなければいけないという評価委員からのご意見もございまして、予算の財源となるものを見つけていきたいと考えております。

教育長

他になれば、報告事項となりますので、ご承知願います。

教育長

次に、(2) 各種認定・許可状況について、事務局からの説明をお願いします。

～学校教育課長補佐 報告事項説明～

教育長

ただいま、事務局から報告がありましたが、委員の皆様から何かご質疑がありますか。
なければ、報告事項となりますので、ご承知願います。

教育長

次に、(3) 教育大綱改訂スケジュールについて、事務局からの説明をお願いします。

～学校教育課長 報告事項説明～

教育長

これについて、補足説明しますと、今年度からいろいろな計画が改訂されます。教育大綱は、来年度改訂される教育振興計画とも整合性を合わせなければいけません。那須町が目指す教育は、コミュニティスクールによる活動に加え、学びの構造転換などの授業改革も進めているため、そこもうまく文言として入るようなものになればと考えております。ある程度できましたら皆さんにも見ていただいて、ご意見をいただければと思っております。

ただいま、事務局から報告がありましたが、委員の皆様から何かご質疑がありますか。
なければ、報告事項となりますので、ご承知願います。

教育長

次に、(4) 余笹川ふれあい公園遊具設置について、事務局からの説明をお願いします。

～生涯学習課長補佐 報告事項説明～

教育長

今までなかった本当に欲しかったものができます。那須町が子育て、教育に力を入れると言ってきたことが、やっと形になりつつあるということでございます。

ただいま、事務局から報告がありました。委員の皆様から何かご質疑がありますか。
なければ、報告事項となりますので、ご承知願います。

教育長

次に、(5) 各種生涯学習事業について、事務局からの説明をお願いします。

～生涯学習課長補佐 報告事項説明～

教育長

ただいま、事務局から報告がありました。委員の皆様から何かご質疑がありますか。
なければ、報告事項となりますので、ご承知願います。

教育長

それでは、その他の報告事項について、事務局で何かありますか。

事務局

ありません。

7 その他

教育長

最後にその他について、事務局から何かありますか。

事務局

特にありません。

教育長

委員の皆さまからは、何かありますか。

全委員

ありません。

教育長

他にご意見等がないようでしたら、進行を事務局にお返しします。

8 閉会

学校教育課長

慎重審議大変ありがとうございました。

以上を持ちまして、令和7年度第3回那須町教育委員会を終了します。

大変お疲れ様でした。

この会議録は書記 藤田健一が記録したものであり、事実と相違ないことを署名する。

令和7年10月1日

委員

菊地厚子

委員

菊地 昭一

書記

藤田 健一

